

# 中国の都市公園緑地整備に対する住民意識の考察— 江蘇省常州市を事例にして —

○ 名古屋産業大学大学院 学生会員 徐 翹  
 名古屋産業大学 正会員 加藤 哲男

## 1. はじめに

人口密度が高く、公共空間も少ない中国で、特に高齢者にとって、都市公園緑地は重要な公共オープンスペースの一つである。生活水準の向上に伴う意識の変化に従って住民の環境意識や健康意識も高くなっている。こうした中で都市公園の整備や管理にはいろいろな問題が存在し、緑地の保全も十分とはいえない。

本研究は、常州市を事例にして、住民の都市公園緑地に対する意向や満足度を把握するために実施したアンケート調査に基づき、常州市が安全、安心な公園緑地を提供するための維持管理や整備の方向性を明らかにすることを目的とする。

## 2. 意識調査の概要

### (1) 常州市の概要

常州市は中華人民共和国江蘇省南部に位置する地級市である。長江三角洲の中心部、上海の西 160km、南京との間に位置し、北は長江（揚子江）に接し、南は太湖に近く、大運河が市内を貫流している。居住人口は、445万人である（2010 年末現在）。

### (2) 調査方法

常州市中心部の天寧区、鐘楼区、戚墅堰区、新北区、武進区を対象とし、2012 年 8 月末から 9 月初旬に 5 区の住民委員会を通じて 100 票ずつ調査票を住民に配布し、著者等が回収した。なお、郵送返信が 5 票あった。回収状況は天寧区 86 票、鐘楼区 95 票、戚墅堰区 47 票、新北区 80 票、武進区 91 票、合計 399 票で、回収率は 79.8%であった。



図一 調査対象区位置図

### (3) 調査項目

調査項目は、公園緑地の増減認知、利用頻度、同行者、利用公園の種別、利用目的、重要な機能、管理上必要な事項、整備管理状況満足度、整備水準、政策の認知、回

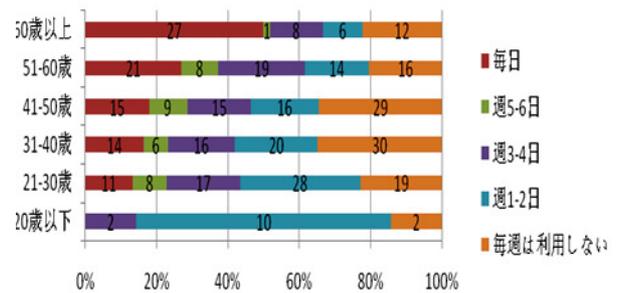
答者の年齢、性別、居住区である。

## 3. 調査結果の考察

### (1) 利用頻度

利用頻度では、毎日利用する人は 88 人 (22%)、週 5-6 日利用する人は 32 人 (8%)、週 3-4 日利用する人は 77 人 (19%)、週 1-2 日利用する人は 94 人 (24%)、毎週は利用しない人が 108 人 (27%) である。

高齢者の利用率が多く、若年層が少ない。中国の現況は、若い人ほど暇な時間が少なく、特に学生は一生懸命勉強や仕事をしている。それに対し、高齢者は暇な時間が多いので、友人と一緒に公園緑地で休憩や語り合いを愉しみ、体を鍛えたり、生活を楽しんでいる。



図一 年齢別公園緑地利用頻度

### (2) 公園緑地の利用目的

公園緑地の利用目的として提示した 11 の目的から該当するものすべてを選択するよう求めた回答結果を表一に示した。「休憩」「散歩・軽い運動」や「景観・自然観察」が多く、「レクリエーション」「音楽活動」「ボランティア活動」は少なかった。年齢別では「語り合いの場」は高齢者で多く、「スポーツ運動」は若年層で多い傾向があった。性別では、「休憩」や「語り合いの場」は女性が多く、「レクリエーション」「軽い運動」「スポーツ」は男性が多い傾向があった。

表一 公園緑地の利用目的

利用目的	数	太極拳・ダンス	79
休憩	221	スポーツ運動	47
散歩・軽い運動	206	レクリエーション	37
景観・自然観察	172	音楽活動	36
語り合いの場	117	ボランティア活動	35
通り道	115	子供遊園等有料施設	28

(3) 公園緑地に重要な機能

公園緑地に重要な機能として提示した10項目の中から3つ以内で選択を求めた結果を表-2に示した。「生活に潤い・季節感」「安全な休息や遊び場」「健康づくりの場」が多く、「避難地や復旧の拠点」「文化財の保存・活用」「社会活動の場」「火災延焼防止」は少なく、「商業活動」は誰も選ばなかった。市民は公園を商業活動の場として重視していないが、常州市では公園緑地はよく商業活動の場として利用されている。

表-2 公園緑地に重要な機能

機能	数	機能	数
生活に潤い・季節感	291	避難地や復旧の拠点	56
安全な休息や遊び場	273	文化財の保存・活用	47
健康づくりの場	221	社会活動の場	42
都市環境の改善	116	火災延焼防止	24
生き物の生息場所	97	展示販売等商業活動	0

(4) 公園緑地管理について必要な事項

公園緑地の管理に必要な事項として提示した8項目の中から3つ以内で選択を求めた結果を表-3に示した。「安全に遊べる」「清潔で快適」「美しくする」が多く「子どもの遊びの指導・手伝い」「ホームレス対策」が少なかった。安全性、快適性、美しさが市民に求められている。常州市の園林部門では毎年いろいろ立派な整備計画を作り、新しい公園緑地の数量は毎年とても速いスピードで増えたが、維持管理のための人員や経費が課題となっている。さらに安全、快適で、綺麗な公園緑地とするために、市政府の役割は大きい。

表-3 公園緑地の管理について必要な事項

必要な事項	数	必要な事項	数
安全に遊べる	228	防犯に対応	129
清潔で快適	212	歴史を守る	130
美しくする	185	子供の指導・手伝い	71
高齢者・障害者に配慮	130	ホームレス対策	55

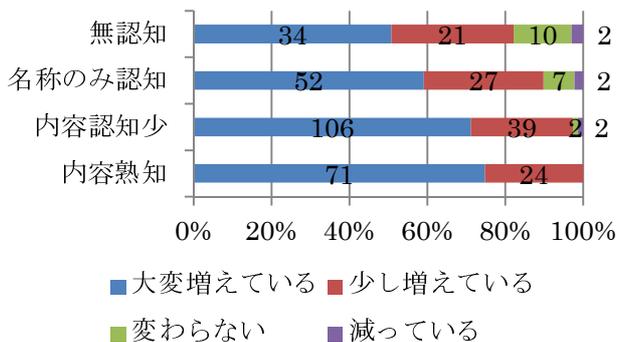


図-3 政策の認知水準別公園緑地増減認知

(5) 公園緑地政策の認知水準と公園緑地の増減認知

中国で運用されている「園林緑化評価標準」や「国家園林都市」などの公園緑地政策や「城郷規制法」などの法令について、「ほとんどの内容をよく知っている」「内容は少しだけ知っている」「名前だけ知っているが内容は分からない」「名前も内容も知らない」の四段階の認知水準で回答を求めた結果、認知度が高い住民ほど、公園緑地の数や面積が増加したと回答する傾向が見られた。

常州市の公園緑地に関する資料によると、2005年末より2010年末までの間に、常州市の社区公園、総合公園、带状公園、街旁緑地の合計で30か所増加し、面積で823.043ha増加した。都市建成区の緑地率は38.2%に達し、2005年より4.3%増え、都市建成区の緑化率は42.2%に達し、2005年より3.4%増えた。一人当たりの都市公園緑地面積は12.35平方メートルで、2005年より5.25平方メートル増えた。

(6) 公園緑地の整備管理状況満足度評価

公園緑地の整備管理の状況について「案内標識」「園路」「照明」「トイレ」「園内清掃」「駐車場」「休憩娯楽」「緑化」「売店」「安全性」「情報提供」「苦情窓口」の12区分で満足度を質問した。「非常に満足」を2点、「まあまあ満足」を1点、「どちらとも言えない」を0点、「やや不満」を-1点、「全く不満」を-2点として評価点数を算出した結果を図-4に示した。「園路」「緑化」「照明」「案内標識」「園内清掃」「トイレ」「安全性」の順に満足度が高く、「駐車場」「苦情窓口」「情報提供」「売店」の順に満足度が低い。自動車所有者が増加傾向にある中で、駐車場の問題は重要な検討課題である。

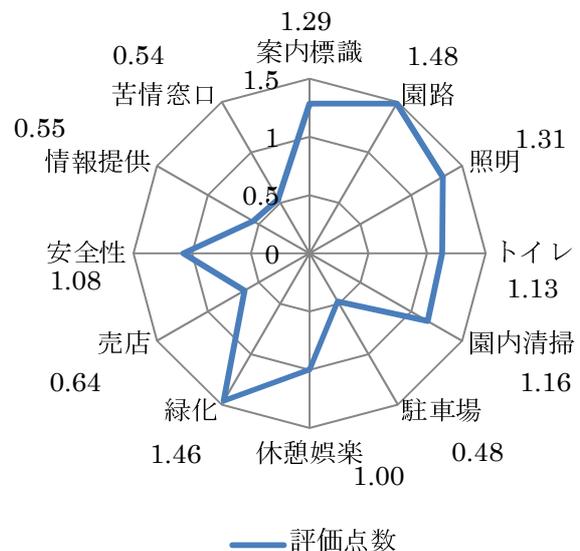


図-4 公園緑地の整備管理状況満足度評価